



ひまわり通信

芙蓉(ふよう) 繊細な美・富貴

特定非営利活動法人
「NPO千の風」
ひまわり栗生発行 NO17
2016年9月

残者お見舞い申し上げます

お盆を過ぎてなお厳しい暑さが続いています。「ひまわり栗生」も長い夏休みをいただきましたが、みなさんお変わりなくお過ごしだったでしょうか。

8月25日は麻雀、パッチワーク、古文を読む会など大勢の利用者さんが集まり、8月のお誕生日会を行いました。

調理スタッフの富士さん手作りの美味しいレアチーズケーキをいただきながら、この日ご参加の8月生まれのお二人を囲んでバースディソングでお祝いしました。



▲今日の主役は2人ですが……

運動教室のボランティアの 笹川さんのご紹介

1947年(昭和22年)生まれの笹川さんは、毎週水曜日に行っている運動教室のサポートをしてくださっています。

笹川さんは茨木市の建築課の職員として働くかたわら、中学時代から興味があった天文への夢を捨てがたく、茨木市のプラネタリウムの解説員として夢を実現させました。笹川さんはさらに、生花にも精通されており、老健施設で教えていらっしゃるようです。

運動教室のボランティアをされるにあたって、「介護予防推進講座」も受講されました。

まさに、残りの人生を(失礼……)前向きにみんなのために、生きている笹川さんです。

今後ともよろしく願いいたします。

9月におもう

人とくらしにやさしい政治を



7月に行われた参議院選挙は、全国の1人区で野党統一候補が善戦し、新しい歴史の扉を開くことができました。一方で自民党の議席が過半数を越えるという結果になりました。

首相による「アベノミクスを加速せよとの信任をいただいた」との発言がありました。

「アベノミクスの加速」とはいったいなんでしょうか。リニア中央新幹線の開業前倒し、大型クルーズ船が寄港できる大型港湾建設など、大型開発が目白押しで、国民向けの対策は後回しです。年金や医療、介護の改悪が続くなか、わたしたち国民にやさしい政治とはかけ離れた政治が続けられようとしています。

くらしと政治は直結しています。生活者の目線でしっかり政治の舵取りを見張っていきたいものです。(U)

●藪内喜美子さんの近況です

この度、妻の入院に際しましては、“ひまわり栗生”の利用者の皆様をはじめスタッフの皆さんにご心配をお掛けいたしました。

術後の経過も順調でおかげさまで8月6日に退院いたしました。主治医からは体力を回復するようしっかり養生してくださいとの言葉でした。今はまだ暑い毎日ですが少しずつ元気になってきて短時間ですが買い物や散歩にも行けるようになっていきます。

残暑厳しい日が続きますが皆様に於かれましてもご自愛くださるようお願いいたします。

(藪内 信夫)

「ひまわり」の大黒柱であった藪内さんの療養で利用者さんには、ご不便をおかけしてはいますが、ご理解いただきますようお願いいたします。1日も早い藪内さんの回復を願っています。

(スタッフ一同)